

【日の出入り・月の出入り表】

2023年 9月

提供：国立天文台

日	日の出 時:分	南中時 時:分:秒	高度 度	日の入り 時:分	月の出 時:分	月の入り 時:分	月齢 12:00	備 考
1	5:55	12:21:20	65.2	18:47	19:47	6:51	15.2	二百十日※1
2	5:56	12:21:01	64.9	18:46	20:18	8:02	16.2	
3	5:56	12:20:42	64.5	18:45	20:49	9:12	17.2	金星が留※2
4	5:57	12:20:22	64.1	18:43	21:21	10:20	18.2	
5	5:58	12:20:02	63.8	18:42	21:57	11:27	19.2	木星が留※2
6	5:58	12:19:42	63.4	18:41	22:38	12:33	20.2	水星が内合※3
7	5:59	12:19:22	63	18:39	23:24	13:36	21.2	下弦
8	5:59	12:19:01	62.6	18:38	--:--	14:34	22.2	白露※4
9	6:00	12:18:41	62.3	18:37	0:15	15:26	23.2	
10	6:01	12:18:20	61.9	18:35	1:10	16:11	24.2	
11	6:01	12:17:59	61.5	18:34	2:08	16:50	25.2	
12	6:02	12:17:38	61.1	18:33	3:07	17:23	26.2	
13	6:03	12:17:17	60.8	18:31	4:04	17:52	27.2	
14	6:03	12:16:55	60.4	18:30	5:01	18:18	28.2	
15	6:04	12:16:34	60	18:29	5:57	18:43	29.2	新月、水星が留※2
16	6:05	12:16:13	59.6	18:27	6:52	19:07	0.6	
17	6:05	12:15:51	59.2	18:26	7:48	19:32	1.6	
18	6:06	12:15:30	58.8	18:24	8:46	19:58	2.6	敬老の日
19	6:07	12:15:09	58.4	18:23	9:45	20:28	3.6	金星が最大光度
20	6:07	12:14:47	58.1	18:22	10:48	21:03	4.6	彼岸の入り
21	6:08	12:14:26	57.7	18:20	11:53	21:45	5.6	
22	6:09	12:14:05	57.3	18:19	12:58	22:36	6.6	水星が西方最大離角※5
23	6:09	12:13:43	56.9	18:18	14:01	23:36	7.6	上弦、秋分※6、秋分の日
24	6:10	12:13:22	56.5	18:16	14:59	--:--	8.6	
25	6:11	12:13:01	56.1	18:15	15:49	0:44	9.6	
26	6:11	12:12:41	55.7	18:13	16:32	1:57	10.6	
27	6:12	12:12:20	55.3	18:12	17:09	3:12	11.6	
28	6:13	12:11:59	54.9	18:11	17:42	4:25	12.6	
29	6:13	12:11:39	54.6	18:09	18:13	5:37	13.6	満月
30	6:14	12:11:19	54.2	18:08	18:44	6:47	14.6	

* 佐世保市(東経129° 43', 北緯33° 10')を基準に計算しています。出入り時刻は地平線での時刻とお考えください。

* 月の出、月の入りが起こらない日があります。月齢は12時で計算しています。

※1 立春から数えて210日目。台風が来ることが多いといわれますが、必ずしもそうとは限りません。

※2 惑星は、通常天球上の恒星の中を西から東へとゆっくり移動(順行)していきように見えますが、時に東から西へ移動(逆行)することがあります。その移動の方向が変わる瞬間を「留」と言います。その後、再び西から東へ移動するようになる瞬間にも「留」となります。

※3 天体が地球からみて太陽の方向にあるのを「合」、反対方向にあるのを「衝」といいます。外惑星の場合は、「合」のとき地球から最も遠くなり「衝」の時最も近くなります。(最も大きく見えます) 内惑星(水星と金星)の場合は、太陽よりも遠い位置にある「外合」と、太陽より近い位置にある「内合」があります。

※4 二十四節季の一つ 意味:しらつゆが草に宿る。

※5 最大離角は、地球から見た太陽と内惑星(水星、金星)との角距離が最大となる瞬間です。地球から見て内惑星が太陽の東側にあるときを東方最大離角(とうほうさいだいいりかく)、太陽の西側にあるときを西方最大離角(せいほうさいだいいりかく)といいます。東方最大離角のころは夕方西の空、西方最大離角のころは明け方東の空にあり、観望の好機となります。

※6 二十四節季の一つ 意味:秋の彼岸の中日。太陽が真東から昇り、真西に沈む。昼夜の長さがほぼ等しくなる。